

## 議案第 1 号 令和 3 年度事業実績について

### 令和 3 年度事業実績について

#### 1 概要

令和 4 年 1 月 1 7 日閣議決定された「令和 4 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、令和 3 年度の我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあるが、令和 3 年 9 月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降は、厳しい状況は徐々に緩和されており、GDP は令和 3 年度中に感染拡大前の水準を回復することが見込まれるとされています。しかし、この閣議決定後、1 月下旬にはまん延防止等措置が発令され、2 月下旬には地政学的混乱の影響により資源価格等が上昇するなど、経済を下振れさせる事態が発生しました。

こうした中、当センターでは、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会の確保及び組織的提供を行って、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図ることにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として事業を実施し、令和 3 年度の主な実績は次のとおりとなりました。

令和 3 年度の請負・委任の受託金額は前年度比 1. 1 パーセント減の 1 2 億 9, 8 0 5 万 7 千円、京都府シルバー人材センター連合会の実施事業所として実施している派遣の受託金額は前年度比 1 2. 5 パーセント減の 1 億 8, 4 1 4 万 8 千円、合計で前年度比 2. 7 パーセント減の 1 4 億 8, 2 2 0 万 5 千円となりました。

また、令和 3 年度の請負・委任の受託件数は前年度比 0. 5 パーセント増の 9, 6 3 7 件（1 箇月単位のカウントだと 2 4, 9 9 4 件、以下「月単位」という。）、派遣の受託件数は前年度比 1 1. 1 パーセント減の 2 2 4 件（月単位 1, 5 4 5 件）で、合計で前年度比 0. 2 パーセント増の 9, 8 6 1 件（月単位 2 6, 5 3 9 件）となりました。

一方、令和 3 年度末の会員数は前年度比 0. 8 パーセント（3 8 人）増の 5, 0 4 7 人（男性会員 3, 1 4 7 人、女性会員 1, 9 0 0 人）で、平均年齢は 7 4. 6 歳、会員の粗入会率は 1. 0 パーセントとなりました。

また、請負・委任の令和 3 年度の就業状況につきましては、就業延人員は前年度比 0. 1 パーセント増の 2 8 1, 1 8 9 人、就業実人員は前年度比 2. 6 パーセント（8 6 人）減の 3, 1 7 4 人、就業率は前年度比 2. 2 パーセント減の 6 2. 9 パーセントでした。

以上の請負・委任に派遣を合計した令和 3 年度の就業状況につきましては、就業延人員は前年度比 1. 8 パーセント減の 3 1 8, 5 9 8 人、就業実人員は前年度比 4. 3 パーセント（1 5 1 人）減の 3, 3 9 2 人、就業率は前年度比 3. 5 パーセント減の 6 7. 2 パーセントでした。

## 2 事業報告

### (1) 受託事業

臨時的かつ短期的な請負・委任による就業又はその他の軽易な業務に係る請負・委任の就業に係る事業におきましては、まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の期間が前年度よりも長期に及んだ影響等により、受託金額は前年度を下回りました。

#### 受託金額の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
請負・委任受注額 (百万円)	1,563	1,522	1,313	1,298

### (2) 独自事業等の推進

就業機会の拡大、自主財源の確保及び地域貢献を果たすことができる事業の推進及び新規事業等の検討に努めました。

### (3) 職業紹介事業

平成26年度から、臨時的かつ短期的な雇用の紹介又はその他の軽易な業務に係る雇用の紹介は、有料で実施しています。

#### 有料職業紹介の状況 (令和3年4月～令和4年3月)

企業からの求人件数	企業への紹介件数	企業へ就職した件数
15	15	15

### (4) 労働者派遣事業

臨時的かつ短期的な派遣又はその他の軽易な業務に係る派遣では、新型コロナウイルスまん延の長期化に伴う派遣先の事情等により、派遣の実績は前年度を下回りました。

#### 受託金額の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣受託額 (百万円)	219	248	211	184

## (5) 講習会の開催

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間は講習会の開催を極力自粛し、それ以外の期間は新型コロナウイルス感染防止に十分配慮して講習会を開催しました。

### 講習会の実施状況（令和3年4月～令和4年3月）

講習会名	内 容	実 施 日	講習延回数(回)	受講延数(人)
福祉・家事援助 初級研修	・会員としての心構え ・仕事の留意点	第2・4木曜	22	94
筆耕講習	・宛名書き ・賞状書き	9/8・16,10/6 10/14,11/10 11/18	6	40
福祉・家事援助 掃除講習	・お掃除の基本を知り、ダスキン流の 健康お掃除と掃除道具の使い方	10/8・13・21・26	4	59
子育て支援講習	・現代における保育事情 ・現場実習	10/8～22	5	85
子育て就業会員 講習	・こどもの発達差による対応について ・保護者との関わり方について	10/25・27・29	3	60
福祉・家事援助 中級研修	・シルバー人材センターの職群班・地 域班について	1/18・20・21	6	91
スマホ講習	・マイナンバーカード申請の仕方 ・スマホの基本、LINEの仕方	1/27,2/2・9	5	58
飛石事故防止研 修（東部支部）	・事故例の共有 ・事故防止策について	2/14・15・17	3	28
除草安全就業講 習（本部）	・飛石事故(物損事故)及び人身事故防 止のための安全就業心得について	2/22	1	34

## (6) ボランティア活動等の推進

地域班の一部の地区では清掃ボランティアを実施し、福祉・家事援助サービス職群班では社会福祉法人2団体へのタオル寄贈のボランティアを実施しました。

## (7) 就業体験等の実施

ちまき作りの就業を体験する機会を設け、就業会員の拡大を図りました。

## (8) 普及啓発活動の推進

### ア イベント等での取組

区民ふれあいまつりをはじめとするほとんどのイベントが中止されたため、当センターのイベントでの活動は限定的になりました。

### イ 会員の日常的取組

職群（福祉・家事援助サービス）班所属会員が、1人あたり1回3枚のビラを近隣及び知人等に配布しました。

### ウ 関係機関等での取組

当センターのPRパンフレット等を配置する団体の拡大に努めました。

### エ マスコミ媒体の利用

臨時入会説明会開催を周知するとともに、当センターへの仕事の発注を呼び掛ける広告ビラを京都新聞に封入しました。

### オ インターネットの利用

インターネット上のホームページを通じ、シルバー人材センターの事業理念、目的及び仕組など各種情報の提供を行っています。

## (9) 就業開拓活動及び受注対応体制の強化

### ア 関係機関を通じた開拓

京都市をはじめとする公共機関に対し、新規発注及び市民への利用勧奨の要請を行いました。

### イ 就業開拓員による開拓

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、企業等への直接訪問による接触活動を避け、ポスティング等による非接触活動を中心に就業開拓活動を行いました。

### ウ 会員による開拓

地域班及び職群班会員によるチラシ配布等の活動並びに一般会員による折に触れてのPR活動等を行いました。

## エ マスコミ媒体の活用

臨時入会説明会開催を周知するとともに、当センターへの仕事の発注を呼び掛ける広告ビラを京都新聞に封入しました。

## オ 発注者へのフォロー

新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限に食い止めるため、職員が電話等により、発注者の意向等を確認しながら、就業の継続及び減少の防止に努めました。

## カ 受注対応体制の強化

就業相談会の開催、地域班及び職群班の活動などを通じて、会員の就業意向の把握に努めました。

### (10) 相談及び情報提供

就業、講習及びボランティア活動等に係る高齢者からの相談に応じ、情報提供を行いました。

### (11) 安全・適正就業対策の強化

#### ア 安全就業の取組

就業現場の安全パトロール及び機械刈り除草の事故防止講習を実施したほか、就業会員にヘルメット等の安全防具及び飛び石防止ネットの貸出を行うなど、事故の未然防止に努めました。

さらに、発注者と連携して就業先の新型コロナウイルス感染防止対策を図り、会員が安心して就業できる環境整備に努めました。

#### イ 安全意識の向上

職群班での会議及び研修会で就業会員の安全就業意識の向上を図る一方、令和3年9月28日、中京警察署の協力により、二条自動車教習所で自転車安全講習を実施し、会員の交通安全意識の向上に努めました。

#### ウ 適正就業の推進

会員就業基準を基に就業会員の交代を実施するなど、長期同一就業の解消及び未就業会員への就業提供に努めました。

#### エ 就業形態適正化の推進

法令に則った就業の実施のため、就業の見直し等を推進しました。

## オ 事故保険金支払状況（令和3年4月～令和4年3月）

区分	人的事故		物的事故	
	件数	主な事故内容	件数	主な事故内容
就業中	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三脚でバランスを崩して転倒し、手首骨折</li> <li>・毒虫に刺され、顔炎症</li> <li>・段差に躓いて転倒し、脚骨折</li> <li>・足を捻って転倒し、足首骨折</li> </ul>	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈機で小石を飛ばし、ガラスを破損</li> <li>・塗料を飛散させ、自動車を破損</li> <li>・配線を切断し、インターホンを破損</li> <li>・バイクを転倒させ、部品を破損</li> </ul>
就業 途上	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で自動車に接触されて転倒し、肩打撲</li> <li>・段差に躓いて転倒、脚骨折</li> </ul>	/	

### (12) 調査研究

法・制度の変更に適確な対応をし、事業の一層の効率的運営を図るため、行政機関及び政令指定都市をはじめとする各シルバー人材センターとの情報交換を行うなど、調査研究に努めました。

### (13) 定期総会、理事会及び専門委員会の充実・強化

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まん延防止等重点措置中及び緊急事態宣言中の専門委員会は開催を自粛したほか、定期総会は当センターの北部支部を会場として前年度同様規模を縮小して開催する一方、理事会は定期的に行いました。

### (14) 会員の増強

毎週金曜日の午前10時から本部、東部支部及び北部支部で開催している通常の入会説明会に加えて、交通至便な会場で臨時入会説明会を計4回実施し、さらに、令和4年1月から3月までを入会促進キャンペーン期間として入会促進の取組を集中的に実施するなど、会員増強の取組を強化した結果、会員数は前年度を38人（0.8パーセント）上回りました。

なお、臨時入会説明会参加者を除く入会説明会の1回あたり平均参加者は18.2人（本部8.2人、東部支部5.4人及び北部支部4.6人）で、前年度よりも1回あたり平均参加者は0.3人（1.6パーセント）減少しました。



(15) 会員組織の充実・強化

ア 地域班の強化, 活性化

地域班ではシルバーだよりの配布などを行いましたが、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間は会議の開催等を極力自粛し、それ以外の期間は新型コロナウイルス感染防止に十分配慮して活動を行いました。

(7) 各地区会議開催状況 (令和3年4月～令和4年3月)

本 部		東部支部		北部支部	
地 区	回 数	地 区	回 数	地 区	回 数
中 京 区	3 回	東 山 区	6 回	北 区	1 回
下 京 区	2 回	山科区A	2 回	上 京 区	4 回
南 区	0 回	山科区B	3 回	左京区A	4 回
右京区A	1 回	伏見区A	0 回	左京区B	3 回
右京区B	0 回	伏見区B	0 回		
右京区C	0 回	伏見区C	1 回		
西京区A	2 回				
西京区B	4 回				

(1) 全体会議開催状況 (令和3年4月～令和4年3月)

開催年月日	会 議 名	内 容
令和3年 7月16日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の地域班活動について</li> <li>・街頭啓発活動について</li> <li>・新型コロナの対応について</li> </ul>
令和4年 1月21日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の状況について</li> <li>・次年度の取組について</li> <li>・堀川今出川事務所の移転について</li> </ul>

## イ 職群班の組織化，活性化

職群班では緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間は会議の開催を極力自粛し，それ以外の期間は新型コロナウイルス感染防止に十分配慮して活動を行いました。

### 職群班会議開催状況（令和3年4月～令和4年3月）

職 群 班 名	会 議 名	実 施 日
福祉・家事援助	ブロック長研修	12/16
サービス班 (KSR)	運営部会議	7/21,10/18,11/16,1/19,3/9
	ブロック長会議	7/30,10/27,11/25,12/16,3/22
子育て支援	全体会議	7/20,10/22,11/15,12/14,3/23

## (16) 事務局体制の充実・強化

### ア 職員の資質向上

京都府シルバー人材センター連合会等の会議，研修会及び講習会（リモートを含む。）に参加し，職員の資質向上に努めました。

### イ 事務の効率化の推進

事務の効率的推進のため，事務機器の入替を行いました。

### ウ 継続性の確保

事務局の継続性を確保して効率的な事業運営を行うため，非正規職員3人を正規職員に転換しました。

### エ 会員の活用

就業開拓及び地域班等に係る業務の一部を会員に委託しています。

## (17) 施設の充実・拡充

事務所の移転及び設置の検討に努めました。



## (18) 財政基盤の安定・強化

7月末に非正規職員1人、8月中旬に正規職員1人が退職しましたが、厳しい財政状況を考慮して欠員を補充せず、人件費の削減に努めました。

また、支払が滞っている発注者への直接訪問して督促するなど、未収金の発生を防止するための対応に努めました。

## (19) 介護予防・日常生活支援総合事業

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、地域包括支援センター等への直接訪問を極力控えましたが、電話等により受注の獲得に努めました。

### 受託状況

年 度	受託件数	受託金額
令和3年度	50 件	5,135 千円
令和2年度	49 件	4,769 千円